

第4部 記述要素

1. 基本方針

NII メタデータ・データベースにおいて作成されるメタデータは、Dublin Core Metadata Initiative (DCMI) の定める記述要素 (Elements) に準拠した標準的なデータ形式を基本とし、必要に応じて NII 独自の限定子を採用するなど拡張したものである。

2. 記述要素の概要

以下の 15 要素を記述対象とする。

No.	要素	入力レベル	備考
1	Title (タイトル)	必須及び選択	
2	Creator (作成者)	あれば必須	
3	Subject (主題)	必須及び選択	
4	Description (内容記述)	選択	
5	Publisher (公開者)	あれば必須	
6	Contributor (寄与者)	選択	
7	Date (日付)	あれば必須	
8	Type (資源タイプ)	必須	
9	Format (フォーマット)	-	システムが自動付与
10	Identifier (資源識別子)	必須及び選択	Scheme=URL はシステムが自動付与
11	Source (情報源)	選択	
12	Language (言語)	必須	
13	Relation (関係)	選択	
14	Coverage (範囲)	選択	
15	Rights (権利関係)	選択	

次の項目は、メタデータの記述要素ではないが、記述することが可能である。

1	Comment (コメント)	選択	
---	----------------	----	--

3. 限定子

メタデータ・データベースにおいては、「限定子(qualifier)」を用いて当該データの性質やコード化方式についての情報を記述する。「限定子」には、各要素を詳細化する「修飾子(element refinement)」と各要素のコード化形式を指定する「スキーム(encoding scheme)」とがある。これらを用いて当該データの性質やコード化方式についての情報を記述する。メタデータ・データベースで用いる修飾子、スキームの種類は次のとおりである。

[メタデータ・データベースで用いる修飾子]

要素	種類	説明
Title , Creator , Publisher , Contributor	Alternative	リソースの正式なタイトルや作成者等の代わりもしくは代替として利用されるタイトルや作成者等
	Transcription	原則として、日本語のヨミ
Date	Created	リソースの作成日
	Modified	リソースの更新日
Relation	Is Version Of	当該リソースに対して、参照先のリソースを主たる版とみなすことができる
	Has Version	当該リソースが参照先のリソースを別なる版として持つ
	Is Replaced By	当該リソースが参照先のリソースによって置き換わる
	Replaces	当該リソースが参照先のリソースを新しく置き換える
	Is Required By	参照先のリソースを利用するにあたり、当該リソースを必要とする
	Requires	当該リソースを利用するにあたり、参照先のリソースを必要とする
	Is Part Of	当該リソースが参照先のリソースの部分となす
	Has Part	当該リソースが参照先のリソースを部分として持つ
	Is Referenced By	当該リソースが参照先のリソースから関連付けられる
	References	当該リソースが参照先のリソースを関連付けている
	Is Format Of	当該リソースが参照先のリソースと内容的に同じであるが、Format は異なる
Coverage	Has Image Of	当該リソースが参照先のリソースの画像を持つ
	Spatial	リソースの内容に深く関連のある国・地域
	Temporal	リソースの内容に深く関連のある歴史上の時代・時期

[メタデータ・データベースで用いるスキーム]

要素	種類	説明
Creator , Publisher , Contributor	NC	著者名典拠ファイル（総合目録データベース）の統一標目形
Subject	LCSH	米国議会図書館件名標目表
	NDC	日本十進分類法
	NDLC	国立国会図書館分類表
	BSH	日本件名標目表
	NDLSH	国立国会図書館件名標目表
	MeSH	医学件名標目表
	DDC	デューイ十進分類法
	LCC	米国議会図書館分類表
	UDC	国際十進分類法
	NII	国立情報学研究所 メタデータ主題語彙集
Date	ISO8601(W3C-DTF)	ISO で規定する書式 YYYY-MM-DD YYYY-MM YYYY Y は西暦年，M は月，D は日付を表す
Type	NII	独自に定める Type リスト（別項参照）
	DCMI	DCMI で推奨される Type リスト
Format	IMT	Internet Media Type で規定されるファイル形式
Identifier , Relation	URL	URL
Identifier	ISSN	国際標準逐次刊行物番号
	ISBN	国際標準図書番号
	DOI	デジタルオブジェクト識別子
Source	URL	URL
	ISBN	国際標準図書番号
	ISSN	国際標準逐次刊行物番号
Language	ISO 639-2	ISO で規定する書式（3文字のコード）
Coverage. Spatial	NII	国立情報学研究所 メタデータ地理語彙集
	LCSH	米国議会図書館件名標目表
Coverage. Temporal	NII	国立情報学研究所 メタデータ時代語彙集
	LCSH	米国議会図書館件名標目表
Rights	URL	URL

4. 記述時の留意点

4.1 ヨミの記録 (Title, Creator, Publisher, Contributor)

Title, Creator, Publisher, および Contributor (いずれも「修飾子なし」) が日本語の場合, 「修飾子=Transcription」を用い, 「修飾子なし」のデータに対応するヨミを記録する。ヨミの記録は『日本目録規則 87 年版改訂版第 II 部「標目」付則 1「片かな表記法」』及び『日本図書館研究会「目録編成規則」第 2 章「ワカチガキ」』に準じる。なお, 日本語以外の部分はヨミを与えなくてよい。

例)

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター	NACSIS-CAT/ILL ニュースレター
马克思主义と文化政策について	马克思主义 ト ブンカ セイサク ニ ツイテ

4.2 人名・団体名の記録 (Creator, Publisher, Contributor)

(人名)

「姓, 名」の形で記録する。

基本的に日本名は漢字 + カナを原則とし, ヨミを「セイ, メイ」の形で記録する。

リソース上の表記がカナやローマ字であっても, 日本名であれば, 漢字形を調べて記録し, ローマ字表記は「修飾子=Alternative」として記録する。どうしても漢字形がわからない場合は情報源上の形(カナやローマ字)を転記する。

(団体名)

職員録や組織図等の公的資料に基づき記録する。

なお, 組織名は, 機関名称から組織形態を追って書き下すことを原則とする。末尾をたとえば研究室とするか ラボとするか, あるいは 分野で止めるかは, 基本的に情報源に従う。流布した通称があれば「修飾子=Alternative」として追加する。

例)

- × 文字情報研究室
- 国立情報学大学開発・事業学部コンテンツ専攻文字情報研究室

(複数の人名・団体名の記録)

例えばあるリソースに「内容の作成に責任を持つ個人または団体」(Creator)が複数存在する場合(共著の場合), 個人・団体の数だけ「修飾子なし」及び対応する「修飾子=Transcription」を繰返して記録する。Publisher, Contributor についても同様とする。

(著者名典拠リンク)

可能であれば NACSIS-CAT の著者名典拠レコードに対しリンクする。

4.3 主題 (Subject)

利用者向け検索システムでは、国立情報学研究所「主題語彙集」を軸とした検索インタフェースを予定している（平成17年度中）。このため「主題語彙集」は必須入力とし、LCSH および NDC については、現在準備中の入力支援機能の実現まで推奨にとどめる。

（主題分析）

NII「主題語彙集」に基づき対象リソースの扱う分野を主題として与える。

例えば、研究者リストは「人名録」として扱うのではなく、リスト上の研究者らの研究分野を主題ととらえる。

国立情報学研究所メタデータ語彙集については第9部を参照のこと。

（NII、LCSH、およびNDC以外のスキーム）

上記三つ以外のスキームは、すべてフリーキーワード扱いで用いる。

論文自体が持つ（著者による）キーワードは、フリーキーワード（修飾子なし）として入力してよい。

4.4 目録上の注記

目録上の注記は Comment に入力する。Description に記録してはならない。

4.5 その他

WWW ブラウザの標準的な状態で閲覧できない場合、Relation（修飾子=Requires）を記録する。

5. 記述要素の詳細

15 要素の記述方法の詳細について次ページ以降に示す。

なお、各項目の「記述文法」は以下の凡例に従う。

【凡例】

, : 要素内項目が、「,(コンマ)」前後の順序通りに出現する。

() : 丸かっこ内の項目を組み合わせで記述する。

指定なし: 1 回記述

* : 0 回以上記述

+ : 1 回以上記述

? : 0 か 1 回記述

+?: あれば, 1 回以上記述

. : 要素名と限定子の連結。限定子のスキームが規定されている場合は、修飾子の有無にかかわらず、要素名の末尾に.を記述する。

{|}: 選択を示す。

[]: 補足を示す。

【例】

(1) `(title, title.Transcription), title.Alternative*`

-> `title`とそれに対応する `title.Transcription` は組み合わせで記述され、それらに対応する `title.Alternative` が 0 回以上記述される。

(2) `type.NII+`, `type.DCMI*`

-> `type.NII` は、1 回以上記述し、`type.DCMI` は 0 回以上記述される。

1. Title (タイトル)

		説明
要素名		Title
定義		リソースに与えられた名前
限定子	修飾子	- (修飾子なし) Transcription(注 1) Alternative (注 2)
	スキーム	- (スキームなし)
入力レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・ 修飾子なし 必須 繰返し不可 ・ 修飾子=Transcription 必須 (日本語の場合のみ記述対象) 繰返し不可 ・ 修飾子=Alternative 選択 繰返し可

1.1 記述の情報源

リソース全体とする。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報源等を参考に、データ作成者が記述することができる。リソースから得られる情報では完全に記述出来ない場合には、データ作成者の判断により適宜補完してよい。

1.2 記述の原則

リソースを表すタイトル等を記録する。

「修飾子なし」には、リソースを代表するタイトルにあたるものを記録する。

「Transcription」には「修飾子なし」の Title に対応するヨミを記録し、「Alternative」には、「修飾子なし」や「Transcription」として記録しないタイトル等を記録する。

1.3 記述文法

[Title (修飾子なし) が日本語を含む場合]

{title}, {title.Transcription}, {title.Alternative*}

[Title (修飾子なし) が日本語を含まない場合]

{title}, {title.Alternative*}

【データ例】

Title:Z39.50 を用いた情報検索システムについて

Title.Transcription:Z39.50 オモチイタ ジョウホウ ケンサク システム ニ ツイテ

Title.Alternative:Information retrieval system based on Z39.50

1.4 注

(注 1) ヨミをカタカナの分かち書きにより記述する。Title が日本語を含む場合のみ記述対象とする。

(注 2)他のタイトル,他の言語によるタイトル,その他のタイトルのヨミ等はここに記述する。

2. Creator (作成者)

		説明
要素名		Creator
定義		リソースの内容の作成に責任を持つ個人または団体
限定子	修飾子	- (修飾子なし) Transcription(注 1) Alternative (注 2)
	スキーム	- (スキームなし) NC (注 3)
入力レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・ 修飾子なし あれば必須 繰返し可 ・ 修飾子=Transcription あれば必須(日本語の場合のみ記述) 繰返し可 ・ 修飾子=Alternative 選択 繰返し可

2.1 記述の情報源

リソース全体とする。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報源等を参考に、データ作成者が記述することができる。リソースから得られる情報では完全に記述出来ない場合には、データ作成者の判断により適宜補完してよい。

2.2 記述の原則

リソース(ソフトウェアの紹介ページをリソースとする場合に限ってはソフトウェアそのもの)の作成に責任を持つ個人または団体等を記録する。

「修飾子なし」には、NC(著者名典拠ファイル)に記録された統一標目形、なければ情報源に表示されている形を記録する。個人名であれば、「姓、名」と記録する。

「Transcription」には「修飾子なし」のCreatorに対応するヨミを記録し、「Alternative」には、「限定子なし」や「Transcription」として記録しない異形や異形のヨミを記録する。

可能な範囲でNC(著者名典拠ファイル)のデータにリンクすること。

2.3 記述文法

[Creator(修飾子なし)が日本名の場合]

`(creator, creator.Transcription)+?, creator.Alternative*`

[Creator(修飾子なし)が日本名以外の場合]

`creator+?, creator.Alternative*`

【データ例】

Creator.NC:情報, 次郎

Creator.Transcription.NC:ジョウホウ, ジロウ

Publisher.NC:国立情報学大学国際学部

Publisher.Transcription.NC:コクリツ ジョウホウ ダイガク コクサイ ガクブ

Contributor.NC:学術情報システム株式会社

Contributor.Transcription:ガクジュツ ジョウホウ システム カブシキ ガイシャ

2.4 注

(注 1) ヨミをカタカナの分かち書きにより記述する。Creator が日本名の場合のみ記述する。Scheme=NCの場合は、統一標目形のヨミを割当て(システムが付与する)

(注 2) Creator(修飾子なし)として記述した作成者の異形や異形のヨミ等はここに記述する。

(注 3) NII 著者名典拠ファイル(総合目録データベース)の統一標目形。

4.Description (内容記述)

		説明
要素名		Description
定義		リソースの内容に関する説明
限定子	修飾子	- (修飾子なし)
	スキーム	- (スキームなし)
入力レベル		選択 繰返し可

4.1 記述の情報源

必要に応じて、リソース上、あるいは、データ作成者の判断で記述する。

リソースで主として日本語が用いられている場合は、日本語による記述を行う。繰り返して英語等他の言語により記述することができる。

リソースで日本語以外が用いられている場合は、可能であれば主として用いられている言語による記述を行い、繰り返して、日本語及びその他の言語により記述することができる。

4.2 記述の原則

リソースの内容に関する説明(内容細目、内容を端的に示す解説、要約等)を記録するものとし、形式は自由とする。

4.3 記述文法

[リソースで主として日本語が用いられている場合]

description[日本語]*	,	description[任意の言語]*
-------------------	---	---------------------

[リソースで主として日本語以外の言語が用いられている場合]

(description(リソースの言語) description(日本語) description(任意の言語))*

【データ例】

Description: 情報探索プロトコル Z39.50(Ver.3)を用いた日本語書誌情報検索システムの開発経緯，先行事例，システム仕様を紹介する。Bib-1 で規定される Use 属性値の日本語への適用，レコード構文 MARC21 へのマッピング方法の試案を示した。

リソースは日本語

6. Contributor (寄与者)

		説明
要素名		Contributor
定義		リソースの内容への寄与に責任を持つ個人または団体
限定子	修飾子	- (修飾子なし) Transcription(注 1) Alternative (注 2)
	スキーム	- (スキームなし) NC (注 3)
入力レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・ 修飾子なし 選択 繰返し可 ・ 修飾子=Transcription 選択 (日本語の場合のみ記述) 繰返し可 ・ 修飾子=Alternative 選択 繰返し可

6.1 記述の情報源

リソース全体とする。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報源等を参考に、データ作成者が記述することができる。リソースから得られる情報では完全に記述出来ない場合には、データ作成者の判断により適宜補完してよい。

6.2 記述の原則

リソース (ソフトウェアの紹介ページをリソースとする場合に限ってはソフトウェアそのもの) の内容に関与していながら、Creator に記述した個人・団体等以外で、リソースの内容への直接的な責任性の薄い個人・団体等があれば、ここに記述する。例えば、監修、編、協力等に類する役割で表示される個人・団体のうち、内容への直接的な責任性の薄いものは、Contributor として記録するのが妥当である。また、ソフトウェアのそのものの作成者とソフトウェアの紹介ページの作成者が異なる場合、ソフトウェアの紹介ページの作成者はここに記録することができる。

「修飾子なし」には、NC (著者名典拠ファイル) に記録された統一標目形、なければ情報源に表示されている形を記録する。個人名であれば、「姓、名」と記録する。

「Transcription」には「修飾子なし」の Contributor に対応するヨミを記録し、「Alternative」には、「限定子なし」や「Transcription」として記録しない異形や異形のヨミを記録する。

可能な範囲で NC (著者名典拠ファイル) のデータにリンクすること。

6.3 記述文法

[Contributor (修飾子なし) が日本名の場合]

`(contributor , contributor.Transcription)*` , `contributor.Alternative*`

[Contributor (修飾子なし) が日本名以外の場合]

`contributor*` , `contributor.Alternative*`

【データ例】

Creator.NC:情報, 次郎

Creator.Transcription.NC:ジョウホウ, ジロウ

Publisher.NC:国立情報学大学工学部

Publisher.Transcription.NC:コクリツ ジョウホウ ダイガク コクサイ ガクブ

Contributor.NC:学術情報システム株式会社

Contributor.Transcription:ガクジュツ ジョウホウ システム カブシキ ガイシャ

6.4 注

(注 1) ヨミをカタカナの分かち書きにより記述する。Contributor が日本名の場合のみ記述する。Scheme=NC の場合は、統一標目形のヨミを割当てる (システムが付与する)

(注 2) Contributor (修飾子なし) として記述した公開者の異形や異形のヨミ等はここに記述する。

(注 3) NII 著者名典拠ファイル (総合目録データベース) の統一標目形。

7. Date (日付)

		説明
要素名		Date
定義		リソースの作成・更新に関する日付
限定子	修飾子	- (修飾子なし) Created(注 1) Modified(注 2)
	スキーム	ISO8601(W3C-DTF)(注 3)
入力レベル		あれば必須 同一修飾子の繰返し不可

7.1 記述の情報源

リソース全体とする (Last Update の表示等)。

7.2 記述の原則

リソースの作成日, リソースの更新日 (最終更新日) を記述する。但し, 日付が明示されていても, それが作成日か更新日か不明な場合, 修飾子なしで当該日付を記録する。更新が頻繁 (例えば毎日) に行われる場合は記述を省略することができる。

7.3 記述文法

<code>date..ISO8601?</code>	<code>date.Created.ISO8601?</code>	<code>date.Modified.ISO8601?</code>
-----------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

【データ例】

Date..ISO8601: 2001-10-29

Date.Created.ISO8601: 2001-08

Date.Modified.ISO8601: 2002-05-29

7.4 注

(注 1) リソースの作成日を記述する。

(注 2) リソースの更新日 (最終更新日) を記述する。但し, 頻繁に更新が行われる場合等は省略することができる。

(注 3) 西暦年 4 桁, 月 2 桁, 日 2 桁をハイフンで結んで表現する。

- ➔ YYYY-MM-DD (年月日を記録する場合)
- ➔ YYYY-MM (年月を記録する場合)
- ➔ YYYY (年を記録する場合)

Y: 西暦の数字, M: 月の数字, D: 日の数字

8. Type (資源タイプ)

		説明
要素名		Type
定義		リソース内容の性質及び種類
限定子	修飾子	- (修飾子なし)
	スキーム	NII(注 1) DCMI(注 2)
入力レベル		スキーム=NII 必須 繰返し可 上記以外 選択 繰返し可

8.1 記述の情報源

データ作成者がリソースの内容から判断し、記述する。

8.2 記述の原則

リソース内容の性質及び種類を、所定のスキームに従って記述する。

必須であるスキーム=NIIは、「第2部 収録対象と採録の基準」で示される区分に準拠している。

8.3 記述文法

`type.NII+`, `type.DCMI*`

【データ例】

Type.NII: 研究成果 - 論文

Type.DCMI: text

8.4 注

(注 1) NII が独自に定めたりストであり、「第3部 メタデータ収録対象」で示される区分に準拠している。以下の項目を値として持つ。

研究成果 - 論文 - 論文以外	研究者情報 - 個人のページ - 研究室トップページ	参考情報 - データベース - 文献目録・文献索引
研究成果リスト - 逐次刊行物	- 研究者情報リスト	- リンク集・ 電子ジャーナル集
- 論文リスト	教育情報 - 講義情報リスト	- メーリングリスト
- プロジェクト関連情報	- 電子教材リスト	- OPAC
- 講演会等	図書館情報 - 図書館・室トップページ	広報資料 - 機関トップページ
研究資源 - データ - ソフトウェア	- 図書館資料	- 下部組織トップページ
- 電子的辞書等	デジタルミュージアム	- 機関広報資料

(注 2) DCMI により規定された以下の項目を値として持つ。

(<http://dublincore.org/documents/2000/07/11/dcmi-type-vocabulary/> 参照)

collection	image	software
dataset	interactive	sound
event	service	text

9. Format (フォーマット)

		説明
要素名		Format
定義		リソースの物理形式またはデジタル化形式
限定子	修飾子	- (修飾子なし)
	スキーム	IMT(注 1)
入力レベル		システムが自動付与する

9.1 記述の情報源

システムがリソース上から自動的にデータを取得する。

9.2 記述の原則

システムが自動的にデータを記述する。

9.3 記述文法

```
format..IMT*
```

【データ例】

Format.IMT:application/pdf

Format.IMT:text/html

9.4 注

(注 1) IMT = Internet Media Type

10. Identifier (資源識別子)

		説明
要素名		Identifier
定義		リソースを一意に識別する文字列または番号
限定子	修飾子	- (修飾子なし)
	スキーム	URL(注 1) ISSN ISBN DOI(注 2)
入力レベル		スキーム=URL システムによる自動付与 (必須 繰返し不可) 他のスキーム 選択 繰返し可

10.1 記述の情報源

リソース全体。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報源等を参考に、データ作成者が記述することができる。

10.2 記述の原則

リソースを一意に識別する文字列または番号を記録する。通常、自動付与により、リソースの URL が記述される。

10.3 記述文法

[Identifier..URL] , [Identifier..{ISSN ISBN DOI}]*
--

【データ例】

Identifier.URL:http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/z3950/z3950article.html

10.4 注

(注 1) システムにより自動取得、自動付与される。

(注 2) DOI=Digital Object Identifier (デジタルオブジェクト識別子)

11. Source（情報源）

		説明
要素名		Source
定義		当該リソースの元となる別の情報資源に関する情報
限定子	修飾子	
	スキーム	- URL ISBN ISSN
入力レベル		選択

11.1 記述の情報源

リソース全体。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報資源を参考に、データ作成者が記述することができる。

11.2 記述の原則

当該情報資源を見つけ出すために有用である別の情報資源に関する日付、作者、形式、識別子あるいは他のメタデータを記述する。

特に、電子化された資料については、その元となった印刷資料等に関する情報を記述する。

Relation エlementを用いて表すことが可能な場合は、Relation Elementを使用する。

11.3 記述文法

`source*` , `source.URL*` , `source.ISBN*` , `source.ISSN*`

[データ例]

source: 新聞記事文庫 出版印刷業(01-001) 中外商業新報 1912.6.4(明治 45)

12. Language (言語)

		説明
要素名		Language
定義		言語
限定子	修飾子	- (修飾子なし)
	スキーム	ISO639-2(注 1)
入力レベル		必須 繰返し可

12.1 記述の情報源

リソース全体

12.2 記述の原則

リソースで用いられている言語を記述する。複数の言語が用いられたリソースであれば、用いられている種類の言語を繰返して記述する。言語が不明の場合や言語が用いられていないリソースは ,und と記録する。

12.3 記述文法

```
language..ISO639-2+
```

【データ例】

Language.ISO639-2:eng

Language.ISO639-2:jpn

12.4 注

(注 1) 規定される 3 文字の言語コードを記述する。

13. Relation (関係)

		説明
要素名		Relation
定義		当該リソースに関連する他のリソースへの参照
限定子	修飾子	DCMI に規定される以下の 12 の修飾子と NII 独自の 1 修飾子 Is Version Of 異版である Has Version 異版あり Is Replaced By 置換される Replaces 置換する Is Required By 要件とされる Requires 要件とする Is Part Of 部分である Has Part 部分を持つ Is Referenced By 参照される References 参照する Is Format Of 別フォーマットである Has Format 別フォーマットあり Has Image Of 画像あり(NII 独自)
	スキーム	URL
入力レベル		選択 繰返し可

13.1 記述の情報源

リソース全体。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報源等を参考に、データ作成者が記述することができる。

13.2 記述の原則

当該リソースに関連する他のリソースの URL を DCMI に従って記述する。

13.3 記述文法

```
relation.{Is Version Of | Has Version | Is Replaced By | Replaces | Is Required By |
Requires | Is Part Of | Has Part | Is Referenced By | References | Is Format Of |
Has Format | Has Image Of}.URL*
```

【データ例】

Relation.Is Referenced By.URL: http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/elnet/
 Relation.Is Part Of.URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl2/No7/index.htm>

13.4 注

修飾子の説明

修飾子	説明
Is Version Of 異版である	当該リソースに対して、参照先のリソースを主たる版とみなすことができる <例> →当該リソース English Version のページ →参照先リソース (本版と見なせる) 日本語ページ
Has Version 異版あり	当該リソースが参照先のリソースを別なる版として持つ <例> →当該リソース (本版とみなせる) の日本語ページ →参照先リソース English Version のページ
Is Replaced By 置換される	当該リソースが参照先のリソースによって置き換わる <例> →当該リソース 更新前のページ →参照先リソース 更新後のページ

修飾子	説明
Replace 置換する	当該リソースが参照先のリソースを新しく置き換える <例> →当該リソース 更新後のページ →参照先リソース 更新前のページ
Is Required By 要件とされる	参照先のリソースを利用するにあたり、当該リソースを必要とする <例> →当該リソース →参照先リソース
Requires 要件とする	当該リソースを利用するにあたり、参照先のリソースを必要とする <例> →当該リソース PDF ファイル →参照先リソース Adobe Acrobat Reader のダウンロードページ
Is Part Of 部分である	当該リソースが参照先のリソースの部分となす <例> →当該リソース 雑誌に掲載された論文・記事 →参照先リソース 掲載誌の当該号目次ページ、あるいは、雑誌全体のページ等
Has Part 部分を持つ	当該リソースが参照先のリソースを部分として持つ <例> →当該リソース 雑誌のある号の目次情報 →参照先リソース 当該号の収録各論文・記事
Is Referenced By 参照される	当該リソースが参照先のリソースから関連付けられる <例> →当該リソース 論文・記事 →参照先リソース 当該論文・記事を引用している別の論文・記事
References 参照する	当該リソースが参照先のリソースを関連付けている <例> →当該リソース 論文・記事 →参照先リソース 当該論文・記事で引用している別の論文・記事
Is Format Of 別フォーマットである	当該リソースが参照先のリソースと内容的に同じであるが、Format は異なる。 <例> →当該リソース PDF 形式で提供される論文・記事 →参照先リソース 当該リソースと内容は同じだが、html で提供される論文・記事
Has Format 別フォーマットあり	当該リソースが内容的には同じだが Format の異なる参照先のリソースを持つ。 <例> →当該リソース html で提供される論文・記事 →参照先リソース 当該リソースと内容は同じだが、PDF 形式で提供される論文・記事
Has Image Of 画像あり	当該リソースが参照先リソースの画像と関連を持つ。 <例> →当該リソース データベース →参照先リソース 当該データベースのロゴ画像

14. Coverage (範囲)

		説明
要素名		Coverage
定義		リソースの知的内容に関する空間的 (地理的) あるいは時間的範囲
限定子	修飾子	Spatial(注 1) Temporal(注 2)
	スキーム	- NII LCSH
入力レベル		選択

14.1 記述の情報源

リソース全体。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報資源を参考に、データ作成者が記述することができる。

14.2 記述の原則

当該情報資源の知的内容に関する空間的(地理的)あるいは時間的範囲を記述する。

空間的範囲は物理的な範囲を表す。所定のスキームあるいは入力支援機能により提供される地名によって記述することが望ましい。

時間的範囲は当該情報資源が表している内容に関する時間的情報を記述する。所定のスキームあるいは入力支援機能により提供される時代区分によって記述することが望ましい。

ここには、情報資源の作成や公開に関する日付を記述しないこと。これらは、Date エlementで記述すべきものである。

14.3 記述文法

<code>coverage.{spatial temporal}* , coverage.{spatial temporal}.NII* , coverage.{spatial temporal}.LCSH*</code>
--

[データ例]

coverage.spatial.NII:東京都

coverage.temporal.NII:江戸時代

14.4 注

(注 1) 空間的(地理的)特性を記述する場合に使用する。

(注 2) 時間的(時代的)特性を記述する場合に使用する。

15. Rights (権利関係)

		説明
要素名		Rights
定義		リソースに関する権利に関する情報
限定子	修飾子	
	スキーム	- URL
入力レベル		選択

15.1 記述の情報源

リソース全体。リソース上から適切なデータが得られない場合、他の情報資源を参考に、データ作成者が記述することができる。

15.2 記述の原則

当該情報資源の権利管理に関する情報 - コピーライト情報、利用者の範囲、利用制限等 - を記述する。

ここには、当該情報資源に表示されている権利管理に関する声明文、または権利管理に関する声明文へのリンクを表す識別子、当該情報資源の権利管理に関する情報を提供するサービスへのリンクを表す識別子を記述する。当該情報資源から得られる情報で適切なデータが得られない場合、他の情報資源等を参考にデータ作成者が記述することができる。

15.3 記述文法

<code>rights*</code> , <code>rights.URL*</code>

[データ例]

rights:(c)筑波大学附属図書館

rights.URL: http://wwwsoc.nii.ac.jp/about_link.html

Comment (備考)

		説明
要素名		Comment
定義		(備考欄)
限定子	修飾子	
	スキーム	
入力レベル		選択 繰返し可

1.記述の情報源

リソース全体

2.記述の原則

必要に応じ、記述の情報源についての注記など、当該メタデータに関する備考事項を記録することができる。記録の有無は自由とする。

3.記述文法

`comment`*

【データ例】

Comment:Creator のヨミは平成 14 年度職員録に基づく。

Comment:平成 14 年 8 月現在、アクセス不能。 専攻事務室に問い合わせ中。